

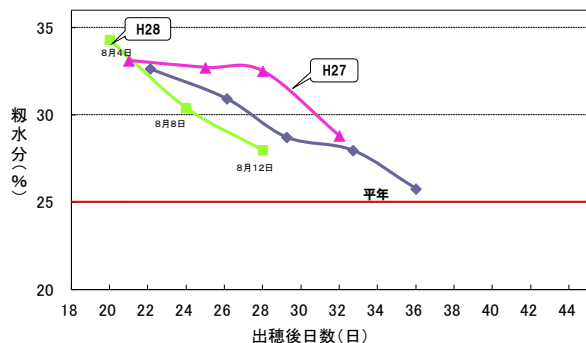
稲作情報 No.15

〔8月12日水稻登熟状況〕

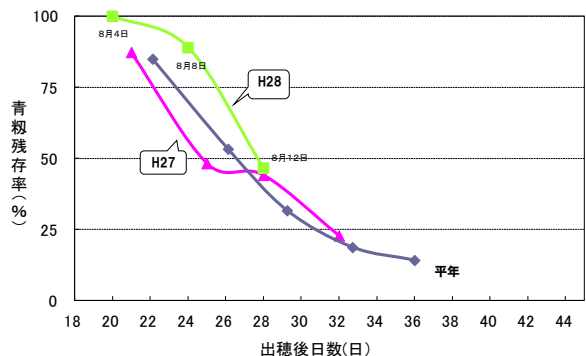
水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会）
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/2016inasaku.html>

- そば播種予定の圃場で土壌の乾燥が激しい場合は、降雨を待ち、土壌に水分がある状態で播種を行いましょ。
- 降雨が少ない日が続きますので、大豆圃場では畝間灌水を行いましょ。
- 間断通水を収穫直前まで続け、根の活力維持を図りましょ。
- 地域で籾水分を測定して適期収穫に備えましょ。

【農試におけるハナエチゼンの籾水分】



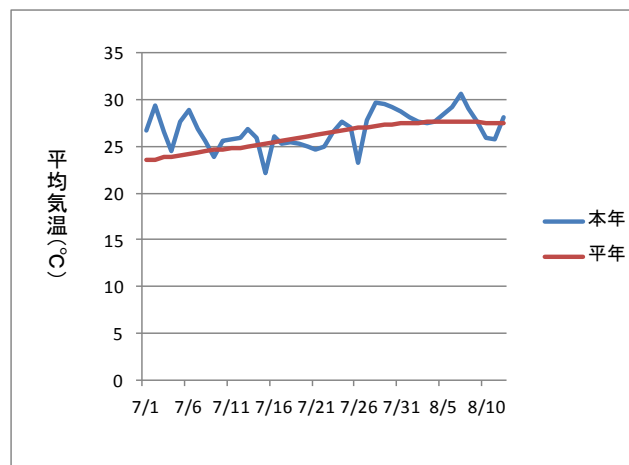
- 農試ハナエチゼンの籾水分はやや低めに推移。
- 青籾残存率は平年並み。
- 胴割粒の発生はみられない。



【農試における出穂期以降の積算気温に基づく収穫期予想】

ハナエチゼン(5月2日植)	出穂期	7月15日
	積算気温860°Cに到達する日	<u>8月16日</u>
コシヒカリ(5月20日植)	出穂期	8月3日
	積算気温990°Cに到達する日	<u>9月10日</u>

上記は今後平年並の気温で経過することを前提に算出。今後の気象条件等で変動するので、これを目安に籾水分等を確認して刈取り日を決める。



- 7月上旬、6半旬、8月2半旬が高温であった。予報では平年より気温の高い日が続く見込み。

- 胴割防止と登熟向上のため、**水管理をこまめに実施**しましょ。
- 今後の気象条件等によっては、ハナエチゼンの収穫適期が早まる場合もある。収穫が遅れば**胴割粒の発生が懸念**される。余裕を持ってハナエチゼンの収穫準備を進め、万が一収穫適期が早まっても慌てることがないようにしましょ。

【移植コシヒカリの生育基準圃の出穂期と積算気温に基づく収穫期予想】

	福井市 砂子田	福井市 上河北	福井市 寺前町	永平寺町 谷口	福井市 真栗	坂井市 楽円	坂井市 折戸	坂井市 下久米田	坂井市 江留中	大野市 富嶋	大野市 上野	勝山市 龍谷
出穂期	8/3	8/1	8/1	8/4	8/1	8/4	8/3	8/3	8/3	8/2	7/31	8/3
収穫期	9/11	9/7	9/8	9/13	9/7	9/12	9/11	9/10	9/10	9/10	9/8	9/12

	鯖江市 中河	越前市 北町	越前市 山室	南越前町 合波	越前町 八田	越前町 細野	美浜町 興道寺	若狭町 神谷	小浜市 竹長	おおい町 山田	坂井 実践農場	農業 試験場
出穂期	8/1	7/29	8/1	8/5	7/30	8/2	8/6	—	7/30	7/27	8/2	8/3
収穫期 予想	9/7	9/4	9/7	9/15	9/5	9/9	9/14	—	9/6	9/2	9/10	9/10

* 積算気温は圃場に設置した温度計と圃場近隣のアメダス平年値を元に算出

【今後の栽培管理】

栽培管理	管理方法
<p>間断通水で登熟向上 適期収穫で胴割れ防止</p>	<p>【ハナエチゼン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫直前まで間断通水を実施し根に酸素と水分を供給する。収穫直前まで圃場の土が白く乾かないようにする。圃場が軟弱な場合は徐々に土を硬くするように努める。排水側の乾き具合も確認して入水を判断する。 ・各地域の出穂後の積算温度から成熟期を大まかに予測する（ハナエチゼンの成熟期は出穂後の積算温度でおおよそ860℃）。 ・予測に基づき圃場ごとの籾水分調査を行う。圃場条件（土質や葉の枯れ上がり、倒伏状況）を考慮した収穫順序を考える。 ・葉色が淡い、穂が小さい、籾数が少ないと早く籾が黄化する傾向にある。圃場の土壌条件（土質、地力、水持ち等）や葉色の推移、下葉の枯れ上がり、成熟期直前の降雨に留意し、適期刈取により胴割れ防止に努める。 ・収穫後は、わらの腐熟促進と漏生籾の発生防止のため早めに秋起しを行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意！ 秋起しはハナエチゼンの圃場もコシヒカリ収穫後に行う場合が多い。 ハナエチゼン圃場のヒコバエが実って翌年に漏生籾が発生する事例が発生している。</p> </div> <p>【コシヒカリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫直前まで間断通水を実施し根に酸素と水分を供給する。収穫直前まで圃場の土が白く乾かないようにする。圃場が軟弱な場合は徐々に土を硬くするように努める。排水側の乾き具合も確認して入水を判断する。 ・フェーン現象や強風の日には終日深水管理とする。これらが治まったら直ちに落水する。 ・直播栽培では、根域が浅いので表面の土の乾燥に特に注意する。 ・各地域の出穂後の積算温度から成熟期を大まかに予測する（コシヒカリの成熟期は出穂後の積算温度でおおよそ990℃）。 ・予測に基づき圃場ごとの籾水分調査を行う。圃場条件（土質や葉の枯れ上がり、倒伏状況）を考慮した収穫順序を考える。 ・葉色が淡い、穂が小さい、籾数が少ないと早く籾が黄化する傾向にある。圃場の土壌条件（土質、地力、水持ち等）や葉色の推移、下葉の枯れ上がり、成熟期直前の降雨に留意し、適期刈取により胴割れ防止に努める。 ・カメムシ類の発生は平年より多い。カメムシ防除を地域ぐるみで適期に行う。斑点米の発生が毎年多い地域では収穫14～7日前にも防除を行う。コシヒカリの周辺にハナエチゼンがある圃場で防除する場合は、ハナエチゼンの収穫時期に注意が必要である。 <p>【その他の品種の成熟期を予測する積算温度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イクヒカリ 990℃ ・あきさかり 1070℃ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">一つの水田で入水側は十分湿っていても… 排水側は相当乾いている</p>

【生育調査結果】

		ハナエチゼン			コシヒカリ								あきさかり		
		農試	坂井農場	現地	農試		坂井農場		現地・慣行		現地・特別栽培		農試	坂井農場	現地
		移植 5/2	移植 5/2	移植 4/29	移植 5/20	直播 5/9	移植 5/16	直播 5/6	移植 5/15	直播 5/4	移植 5/25	直播 5/3	移植 5/2	移植 5/16	移植 5/13
幼穂 形成期	本年	6/25	6/24	6/24	7/12	7/16	7/12	7/16	7/11	7/14	7/20	7/14	7/7	7/15	7/12
	平年	6/28	6/27	6/30	7/13	7/16	7/10	7/16	7/12	7/15	7/13	7/12	7/10	7/14	7/11
出穂期	本年	7/15	7/15	7/15	8/3	8/6	8/2	8/5	8/1	8/4	—	8/6	7/29	8/6	8/3
	平年	7/19	7/18	7/22	8/3	8/7	8/2	8/7	8/2	8/5	8/4	8/3	8/2	8/6	8/2

【農試気象対策試験における出穂期の止葉の葉色（SPAD値）】()は平年比

年	ハナエチゼン	コシヒカリ	あきさかり
28年（SPAD）	35. 2(92)	32. 1(93)	33. 0(97)
27年（SPAD）	34. 8	36. 2	31. 6
26年（SPAD）	40. 8	34. 6	35. 4
25年（SPAD）	37. 1	34. 9	34. 6

暑い日が続く水田の水管理は大変ですが、もうひと踏ん張りしていただいて、稲にも活力を与えてあげてください。

大豆

作業	作業の注意点										
<p>病虫害防除</p>	<p>・紫斑病と組み合わせて適期防除に努める。朝夕風のない時間帯に、薬剤が莢に充分付着するよう散布する。</p> <table border="1" data-bbox="416 265 1970 715"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 265 779 311">病虫害</th> <th data-bbox="779 265 1970 311">防除</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 311 779 362">紫斑病</td> <td data-bbox="779 311 1970 362">種子消毒や自家種を使用している場合は防除する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 362 779 414">シロイチモジマダラメイガ</td> <td data-bbox="779 362 1970 414">幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 414 779 551">フタスジヒメハムシ</td> <td data-bbox="779 414 1970 551"> 第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落としを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 551 779 715">カメムシ類</td> <td data-bbox="779 551 1970 715"> 圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>・薬剤は最寄りのJAで取扱いの薬剤を御確認ください。</p>	病虫害	防除	紫斑病	種子消毒や自家種を使用している場合は防除する	シロイチモジマダラメイガ	幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。	フタスジヒメハムシ	第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落としを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。	カメムシ類	圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。
病虫害	防除										
紫斑病	種子消毒や自家種を使用している場合は防除する										
シロイチモジマダラメイガ	幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。										
フタスジヒメハムシ	第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落としを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。										
カメムシ類	圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。										

ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-et.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ→ 農業技術情報 →稲作情報システム

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

NO	地名	品種	栽培方法	地域区分
4	高山一級産	ハナエチゼン	移植	高丹中
7	あわのこ伊豆	ハナエチゼン	移植	低丹平
45	福井農機一ノ木	ハナエチゼン	移植	低丹平
54	福井農機二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	低丹平
56	福井一級産	ハナエチゼン	移植	高丹平
110	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	直播	低丹平
112	あわのこ重産(産別)	コヒカリ	直播	低丹平
58	福井農機一ノ木	あきさかり	移植	低丹平
113	福井農機一ノ木	コヒカリ	移植	低丹平
70	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高丹平
71	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高丹平
72	あまのこ(産別)	コヒカリ	移植	高丹平
73	津島二級産(産別)	コヒカリ	移植	高丹平
74	三級一級産(産別)	コヒカリ	移植	低丹平
75	丸岡一ノ木(産別)	コヒカリ	移植	低丹平
76	丸岡二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	低丹平
83	福井二ノ木	あきさかり	移植	高丹平
116	丸岡一級産	ハナエチゼン	移植	低丹平

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

8月13日 5時 福井県の週間天気予報

【天気予報】

日付	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金
福井県	晴 ☀️	晴時々曇 ☀️☁️	曇時々晴 ☁️☀️	曇 ☁️	曇 ☁️	曇 ☁️	曇 ☁️
降水確率(%)	~0/20/10	10/10/20/20	30	40	40	40	40
信頼度	/	/	B	C	B	C	B
福井	最高(°C)	35	33 (31~35)	33 (30~35)	34 (31~36)	33 (30~36)	33 (31~35)
	最低(°C)	/	25 (24~26)	25 (23~26)	25 (23~26)	25 (21~28)	25 (23~27)

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

携帯電話ではQRコードで簡単アクセス